

Community Learning Centers of Okayama

岡山の公民館

No.61

令和3年3月 編集発行 岡山県公民館連合会

〒700-0016 岡山市北区伊島町3-1-1 岡山県生涯学習センター内

電話 086-251-9751 FAX 086-251-9757

ホームページ 【<http://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/>】



令和3年度 主な行事予定

- 令和3年度岡山県公民館連合会総会・研修会
期 日：令和3年5月13日（木）
場 所：岡山県生涯学習センター 大研修室 他
- 第43回全国公民館研究集会愛媛県大会 兼
第43回中国・四国地区公民館研究集会愛媛大会
期 日：令和3年10月21日（木）、22日（金）
場 所：松山市民会館 他



備中
ブロック

浅口市中央公民館

「SNS発信講座～ステキ発信力を身につけよう～」



美作
ブロック

あわくら会館

「中学生発企画『第1回eスポーツ大会
inあわくら会館』」



備前
ブロック

瀬戸内市中央公民館

「文化があふれるまちづくり委員会関連事業
『前結び帯結ファッションショー』」

公民館記章



このシンボルマークは、公民館の「公」の字を図案化し、しかも、全体の形を「館」になぞらえたものである。

昭和53年 4月1日 制定
昭和35年10月1日 遡及適用

Index

各ブロックから・主な行事予定	1
挨拶・令和2年度表彰	2
令和2年度岡山県公民館連合会事業	3
公民館職員が選ぶ講座アワード	4、5
第32回全国公民館セミナー	5
第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会のお知らせ	5
市町村出前講座事業	6
第13回地域教育実践オンライン交流集会	6
公民館 ひと・ひと・グループ	7
まちから むらから フォトレター	8

「地域の夢を育む公民館」

岡山県公民館連合会副会長（岡山県教育庁生涯学習課長） 栗原 宏之



新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活や社会活動に大きな影響を及ぼしました。各公民館においても様々な感染症対策を講じながら、地域の学習と交流の場としての活動を進められていることと存じます。関係各位の御努力に、心から感謝申し上げます。

人口減少、人生100年時代、Society5.0、グローバル化といった社会の変化を見据え、社会や人生、生活をより豊かなものにすることや、複雑化・多様化した社会の課題解決のために、主体的な学びや人々との協働は必要不可欠です。

岡山県教育委員会では、子どもたちが、これからの時代を乗り越え、新たな価値を創造していくために、子どもたちの夢を育む教育「夢育」に取り組んでいます。子どもたちが、多様な経験や多くの人々との出会いの中で、自分からやってみたいと思える夢や目標を見つけ、その実現に向けて挑戦する経験を繰り返すことで、意欲や自信などの「自分を高める力」を養うことを、学校のみならず、就学前から家庭、地域などの学びの場での機会を通じて推進してまいります。そして、保護者や地域の大人が、子どもたちに豊かな学びを提供する地域ぐるみの活動を、自身の大人の学びにも生かすことなど、誰もが生涯を通じた学びの中で夢や目標に向かって取り組めるよう、県内全ての公民館に力添えをお願いします。

これからの公民館には、地域の学習と交流の場をはじめ、地域の持続的な発展を推進するセンター的役割や地域の防災拠点など、多様な役割が求められています。地域住民が、生涯を通じて目標を持ち、自らの関心に基づいた学習活動に取り組み、また、学びを生かした地域活動への参画を通して、よりよい地域社会を形成していくために、公民館には郷土岡山の発展を担う拠点としての役割を期待しています。

最後に、令和4年度には「第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼 第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会」を岡山県で開催する予定です。実りある大会にするため、公民館の皆様のご支援とご協力をお願いします。

輝く令和2年度受賞

文部科学大臣表彰 優良公民館

○笠岡市新山公民館【優秀館】

子どもたちの郷土愛の育成が地域課題の解決につながると考え、各種事業に取り組み、平成30・31年度に実施した岡山県公民館連合会事業「公民館・学生協働プロジェクト」に立候補し、課題解決に向け熱心に取り組んだ。小・中学校と積極的に関わり、学校のカリキュラム内では取り組みにくい部分が何かを聞き取り、公民館だからこそできる課外学習を提案し、生徒の学びをより深めている。特徴的な取組である短編映画の撮影は、地域住民のつながりづくりのためにと中学生が発案し、「新山公民館祭り」、さらには「笠岡市生涯学習フェスティバル」で上映され多くの市民に感動を与えた。

○岡山市立高松公民館

高松公民館のエリアは高齢化率が高く、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯も多い。高齢者福祉施設や病院などの環境は比較的に整ってはいるが、介護されない身体づくりや、心の健康面での住民の横のつながりづくりが何より重要となってきた。

そういった地域課題を把握し、ニーズに合った取組を展開している。特徴的な取組のひとつ「朝ラジオ体操事業」は、令和元年度にはのべ3,500人程度の住民が参加し、住民の自主的な健康づくりや参加者同士のつながりづくりに寄与している。

全国公民館連合会表彰(1名)

【永年勤続職員表彰】 山崎富美子（鏡野町立富公民館 館長）

岡山県公民館連合会表彰(19名)

【優良職員表彰】

田中 栄嗣（倉敷市教育委員会 市民学習センター 館長代理）	片山浩太郎（倉敷市玉島公民館 館長）
上田 義昭（倉敷市玉島公民館（兼務）真備公民館 主幹兼館長）	河原 竜雄（倉敷市水島公民館 主任）
難波 章恵（前 倉敷市玉島公民館 主任）	井上規差子（津山市大崎公民館 館長）
川端 紀子（津山市佐良山公民館 館長）	西山 亮二（津山市阿波公民館 館長）
山本 昭夫（笠岡市新山公民館 館長）	宗高 平八（井原市西江原公民館 館長）
下山咲知子（総社市西公民館神在分館 分館主事）	綾野 仁志（総社市西公民館新本分館 分館主事）
萬成 教雄（総社市清音公民館 次長）	吉野 孝義（備前市立中央公民館 主任）
蛭子 理恵（備前市立西鶴山公民館 主事）	金島 隆（鏡野町立小田公民館 館長）
大森 清子（吉備中央町上竹荘公民館 主事）	竹竝 誠一（吉備中央町納地公民館 館長）
江本 学（岡山県公民館連合会 前理事）	

（敬称略・順不同）

令和2年度 岡山県公民館連合会事業

理事会・総会 ※新型コロナウイルス感染予防のため、書面会議により開催

- 令和元年度事業報告・決算報告及び監査報告
- 令和2年度事業計画(案)及び予算(案) 他

第1・2回研修会

- 新型コロナウイルス感染予防のため、中止

第3回研修会

開催日／令和2年9月3日(木) 場所／岡山県生涯学習センター

【内 容】●テーマ「事業の効果を上げる『評価のススメ』」

講師 一般社団法人 インパクト・マネジメント・ラボ

共同代表 千葉 直紀 氏・鎌倉 幸子 氏

評価の種類や評価の仕方、評価を事業改善にどう活用するのかを、事例も交えながら、わかりやすくご教示いただきました。オンラインを使い実施しました。



第4回研修会

【県北会場】 開催日／令和2年11月11日(水) 場所／津山市中央公民館

【県南会場】 開催日／令和2年11月12日(木) 場所／岡山県生涯学習センター

【内 容】●テーマ「効果的に発展させる 事業のリメイクとは」

講師 愛媛県 伊予市双海地区公民館 館長 森田 清延 氏

双海地区公民館の取組のご紹介や、事業をリメイクする際のポイントなどを分かりやすくご教示いただきました。その後、教えていただいたポイントを参考にしながら、それぞれの館で行っている事業をリメイクしてみました。



第5回研修会

開催日／令和2年12月1日(火) 場所／岡山県生涯学習センター

【内 容】●テーマ「防災力向上に向けて公民館ができること」

講師 神戸学院大学 現代社会学部 教授 前林 清和 氏

近年の災害の状況や、防災における公民館の重要性、防災アクティビティの具体例、避難所運営の準備の仕方など、幅広くご教示いただきました。その後、講義内容や公民館のもつ「つどう・まなぶ・むすぶ」機能を活かして、今後どのようなことができるか考えました。



第6回研修会

開催日／令和3年1月28日(木) 場所／岡山県生涯学習センター

【内 容】●第3回「公民館職員が選ぶ!講座アワード」受賞館から学ぶ(実践発表)

●情報交換

●第4回「公民館職員が選ぶ!講座アワード」表彰式 詳細は、P4・5

講座アワード受賞館の活動の様子から、具体的な運営方法や事業の進め方を学びました。その後、コロナ禍の公民館運営について情報交換をしました。



第4回 公民館職員が選ぶ!講座アワード

本年度、第4回を迎えた「公民館職員が選ぶ!講座アワード」ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により公民館活動が制限される中、県内の公民館から提出された75の「おすすめ講座」の中から35館にアワードへ応募いただきました。本当にありがとうございました。

投票された公民館職員の皆様から、多くの感想・応援メッセージをいただきました。「どの館も素晴らしい実践をされており、刺激を受けました。」「地域の中核としての公民館のあり方を学ぶことができました。」など、学びを得ることができたという感想をいただきました。講座の中には、コロナ対応など今年度ならではの内容のものもあり、自館の取組の参考になったという声も届いています。

これからもこの取組を、皆様と力を合わせて「情報交換の場」「アイデアの泉」として温めていきたいと思っています。

来年度の講座アワードも、多くの公民館からのエントリーをお待ちしています。



「村民が生きるを楽しむための グランプリ『村民講師イベント・ワークショップ』」 あわくら会館 (23票)

2年連続入賞

村民が生きるを楽しむための
あわくら会館 「村民講師イベント・ワークショップ」



★ ねらい
多様なスキルを持った村民講師が、参加者へ多様な体験を提供。講師も参加者も「生きるを楽しむ」こと。

★ どんなことをやるの?
村民講師の仕事・特技・得意なことや趣味を生かした人数講座で、村民講師と参加者はフラットな関係で講座を開催。多くの講座を開催することで、人口が少ない村でも多様なニーズや潜在的なニーズに向き合う。
講師の発掘、村民講師のイベント実施をサポートすることがあわくら会館の役割。

★ 村ならではのポイント
たくさんの方のスキルを持った「ターンオーバー型」

▲ 制作作家 300 名の村民アローサック作り

★ やってみたい村民の声と夢
(参加者)「村内でこんな体験できると思わなかった」→ 色々な体験ができる!
(講師)「自分のことを知ってもらえたり、喜んでもらえて嬉しい」
→ 村民同士たくさんつながりができて、次の活動が広がっている!
(参加者も講師)「参加できて、してもらえて楽しかったよ」→ 生きるを楽しんでいるよ

「生きるを楽しむ」村民講師イベント Snap 4月のオープンから11月までに12講座を開催!



生きるを楽しむ 西尾会館
Project by Rinsen, Japan and its Region network

【投票理由】

- 自分たちが生活している地域の中で、様々なジャンルの「得意」をもっている人々を発掘しているところが素晴らしいと思った。住民の方も、多彩な体験ができ、講師の方も自分たちの活躍できる居場所があることは、まさに地域全体ですべての人が「生きるを楽しむ」ことだと感じた。
- 普段から地域の方とコミュニケーションを取っているからこそ成り立った企画だと感じた。地域の方の特技の把握など、地域に根差した公民館活動をされているところが素晴らしい。
- 公民館を中心に、住民が講師でもあり、受講生でもある。講座がきっかけで住民同士のつながりも深くなり、また、公民館も賑やかになる。公民館の基本だと感じた。
- 地域の人材を活かすことは、どこの公民館でも取り組める。自館でもやってみようという気持ちになった。

「未来商店街 準グランプリ『2020未来商店街プロジェクトチーム』」 久米南町中央公民館 (20票)



★ ねらい (解決したい地域課題)
現在、久米南町の人口は約4,800人。その内、中学生は約100人。これから町はどうなっていくの?もっと静かになっていくの?「未来商店街」は、中高生のアイデアでまちをどうしたら元気になれるのか、盛り上げることが出来るのかを考え実現する場です! 旧下町商店街を会場に、中・高生が中心となり、まちを元気にしようという思いで、自分たちでステージ企画も考えます!
今年度は、新型コロナウイルス感染症のため中止になりましたが、プロジェクトチームを立ち上げ作業会議を行いました。中高生が中心となって来年度へつながる取組を話し合いました!



- 1 商店街について知ろう!
会場となる旧下町商店街について、地域の方を講師にお招きし、学び考えました。
- 2 あったらしいなよを考えよう!
来年度のテーマを決め、未来商店街にあったらしいなよと思うものを考えました。
- 3 来年に必要なのはこれだ!
自分たちが考えた来年度にあったらしいなよと思う、企画を昨年度の協力団体へ発表に行きました!

来年度のテーマ いろいろな人に来てもらえる未来商店街



【投票理由】

- 中高生たちが、自分たちの住んでいる久米南町を元気にし、盛り上げるにはどうしたらよいかを真剣に考え、活動できる場を公民館が提供していることが素晴らしい。また、中高生たちががんばっている姿を見て、地域の方たちが元気になる様子もうかがえる。
- 地域の大人と中高生がともに地域の商店街について考え、活動していくことで、地域活性化や世代を超えたつながりづくり、若者の地域愛を育むことができる実践だと思った。この取組がどのようなものを生み出していくのかが楽しみ。
- タイトルのとおり「久米南町が好きだから、地域のために何かしたい。」という思いが伝わってきた。今年度は中止となったけれど、そこで終わりなのではなく来年度に向けて動き始めている点もいいなと感じた。
- 企画段階から若者が関わり、異世代との交流を通して地域の活性化につながる可能性のあるものを実行されている。



第3位

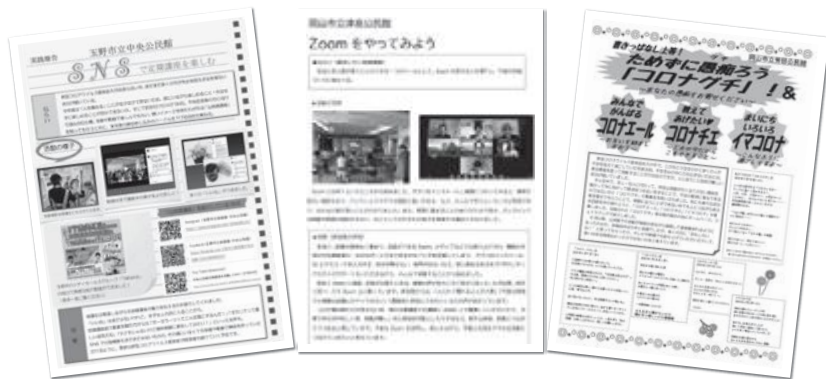
「御休タウンミーティング」 岡山市立上道公民館（19票）

2度目の入賞

【投票理由】

- 小学生が、自分が住んでいる地域のことをみんなで考え、見つけた課題を大人たちも真剣に受け止めて行動しているところがすばらしいと思った。自分の声が地域の大人に届くという体験は、子どもたちの宝になると思うし、地域を大切に、愛するきっかけになると思う。
- 事前に調査してきたことをもとに、子どもたちが大人とともに考え、意見を出し合い、提言を作り発表し、自分たちの住んでいるところを本当に良くするために行動できているところがよかった。子どもでも、大人と対等に考え合い、話し合う中で地域を変えられるという経験が、まちづくりを進める力を培っているから、これからも続けていってほしい。
- 学校との連携がすばらしい。子どもから大人まで巻き込んで地域課題を見つけ出す事業に果敢に取り組んでおられるのがすごい。

コロナ禍でもできること・コロナ禍だからこそできること、趣向を凝らした取組がたくさん紹介されています。ぜひ参考になさってください。



※講座アワードにエントリーされた全館の実践報告は、岡山県公民館連合会のHP
【<http://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/topics/detail.aspx?servno=5743>】からご覧いただけます。



第32回全国公民館セミナー

令和3年1月20日（水）～22日（金）の3日間、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催される予定でした「第32回全国公民館セミナー」は、新型コロナウイルス感染症の情勢により今回はオンライン配信による開催となりました。

配信は2月下旬に全国公民館連合会公式YouTubeチャンネルで開始され、公開後はいつでも視聴可能です。また、研修資料も公開されています。研修の場として広く開かれることとなった今回、ぜひ視聴・閲覧いただき、各館のさらなる振興に向け共に学びましょう。

全国公民館連合会



第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼 第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会のお知らせ

毎年、中国・四国地区の公民館職員等が一堂に会し盛大に開催している中国・四国地区公民館研究集会の第44回大会が、令和4年10月に岡山県で開催されることになっています。

例年、本研究集会には約1,200名が中国・四国地区から参加しています。岡山県内からも多くの方が参加しています。

現在、より質の高い研究集会とするため、企画委員会を組織しテーマや内容等の検討を行っています。

実り多く、さらに参加者に感動を与えられる岡山大会として成功させるためにも、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



市町村出前講座事業 ワークシート集作成

市町村出前講座事業では、公民館職員に必要なスキルの習得ができる研修を各市町村内で効果的に進められるよう、ワークシート集の作成に取り組みました。

県内公民館の職員の方々4名を作成委員として委嘱し、特定非営利活動法人 岡山NPOセンター 代表理事 石原 達也 氏のご指導・ご助言をいただき、地域資源のを見つけ方や、目的・目標の設定の仕方、評価の方法など、効果的な事業・講座を作る上で欠かせない内容を詳しく学ぶことができるものとなっています。

令和3年度初めに、各市町村へ配付します。ぜひ研修の機会にご活用いただき、効果的に進めていただければと思います。

さらに、令和3年度以降、そのワークシート集を活用し、市町村からの要請に応じて公民館研修会等（連絡会も含む）に岡山県公民館連合会が出向き、実態に応じた研修等を行うお手伝いをします。



※表紙イメージ



第13回地域教育実践オンライン交流集会

地域教育実践ネットワークえひめが主催する「地域教育実践交流集会（以下、オンライン交流集会）」が、コロナ禍ということもあり本年度はオンラインにて令和2年12月5日（土）に開催され、笠岡市新山公民館が実践発表者として参加しました。

オンライン交流集会への参加を県公連から打診がありました。私たちのプロジェクトは、学校、地域、公民館の強みを生かして取り組んだ事業で、多くの人の参加で「憧れのサイクル」を循環させることができました。この実践を通して、関わってくれた人たちに達成感を味わってもらいたいと考えていたので、話を聞いた瞬間はプレッシャーを感じましたが、すぐに参加の意思表示をしました。

参加できたことに感謝し、マイナーからメジャー?になった喜びを今後のエネルギーにしたいと思います。

館長 山本 昭夫

今回のオンライン交流集会に参加して、全国には、地域教育の活性化のために様々な手法で努力されている方々がいることを学ぶことができました。

主催者側、参加している方の熱心さ・温かさが伝わってくる交流集会でした。分散会で一緒にグループに参加した、愛媛県伊予市双海町のふたみファンクラブ 上田さんの発表からも、子どもの時に自然に接した“大人たちとの思い出＝地域を盛り上げようとしている姿”が、子どもたちのふるさと愛を育んでいることを確信したように思います。どのような状況であっても「人とのつながりの大切さ」を感じることができました。

これからの公民館業務に活かしていきたいと思います。

主事 中村 優子



公民館 ひと・ひと・グループ

「WEBを活用した 公民館グループ活動紹介」

赤磐市立中央公民館

備前ブロック



制限がある中でも、会員の皆さんは生き生きと楽しんでいらっしゃいます。

今年度中止となった中央公民館まつりの代替事業として、WEBを活用した公民館グループの活動紹介や活動成果の発表の場を作っています。公民館グループの活動の様子を撮影・編集してまとめ、紹介メッセージとともに令和3年5月頃から赤磐市公式YouTubeチャンネルに掲載する予定です。

撮影をする中で、改めて色々なジャンルのグループが熱心に活動されていることを知ることができました。

コロナの終息が見えない中ですが、できることから取り組み、様々なツールを使い公民館の活動を一人でも多くの方に知っていただけるよう情報発信していきます。

「『ジャッコ押し』で伝承体験」

新見市福本公民館

備中ブロック



息を合わせて、追い込むぞ!

未来に残したいものとして、昔からあったジャッコ（別名ゴリ：雑子からなまった）捕りを毎年伝承しています。

上市小学校の児童に声を掛け、福本地域振興会や中村地区の皆さんと近くの高梁川の清流に入りました。

柳の枝を組んで長い追い込み道具を作り、みんなで輪になって下流からかけ声と共に上流へジャッコを追ひ、網力ゴの中へ入れます。始めは川に入るのもこわごわだった児童たちもだんだん慣れると元気が良くなり、何回かすると上手になりました。捕れたジャッコは、ジャッコ汁でおいしくいただきました。

「生け花教室」

新庄村公民館

美作ブロック



どの葉や枝をそくか、思い思いに花と向き合う時間です。

「今日はどの花を主役にしようかな。」

小学生から60代までの花好きが月1回、色とりどりの花材を前に、小気味良い花ばさみの音を響かせています。仕上げた作品は自宅に飾るほか、村の文化祭で披露するなど、花のある暮らしの魅力を地域に発信しています。

仕事や家事に追われる中、少しでも潤いのある時間を過ごそうと、20年以上前に活動を開始。敷居の高いお稽古事にならぬよう、各々が腕のレベルに応じて花に親しんでいます。「コロナ禍だからこそ、花からもらう癒しの力は大きい」と皆、口を揃えています。

まちから 屯らから フォトレター

和気町中央公民館



「アートフラワー講座」

花好きのメンバーが公民館に集まって、「時間はかかるが、完成した時の達成感が何より嬉しい」「何もかも忘れて夢中になれる」「手先を使うのでボケ防止になる」など、和気あいあいと活動しています。

吉備中央町吉備高原公民館



「吉備高原公民館設立記念事業」

令和2年6月、吉備高原地区に「吉備高原公民館」が誕生しました。10月には、設立記念事業としてマジックショーや岡山県警による特殊詐欺被害防止に関する寸劇、県警音楽隊の演奏などを行い、地域住民の方と公民館新設を祝いました。今後、地域活動の拠点となる公民館として新たな地域文化の醸成に努めていきます。

井原市木之子公民館



「きのこ探訪・健康ウォーク」

11月15日、晴れた初冬の木之子路を幾つかの名所旧跡を訪ねながら、健康増進を兼ねてウォーキングを行いました。幅広い年齢層の参加者が集い、要所での解説を聞きながら木之子の歴史を再認識した半日となりました。

早島町中央公民館



「はやしまプレーパーク」

子どもの遊び場の確保と保護者の子育て支援をねらいに、就学前幼児と保護者を対象に、ゆるびの舎北側のぞうさん広場で毎月第3土曜日(13:00~16:30)に「はやしまプレーパーク」を開催しています。はやしまプレーパークでは、子どもが保護者や地域のプレーリーダーと触れ合い、子ども同士で遊んだり、保護者同士で話したりする中で、絆や人間関係を深めています。

勝央町公民館



「英語で遊ぼう!しょうおうキッズ」

英語を通じて外国文化を親子で学び、グローバルな視野を育むことを目的とした講座です。「ハロウィン」がテーマの回では、仮装をした子どもたちが「Trick or treat!」とお菓子を求めて、出雲街道沿いの各家庭を回っていく、trick or treatラリーを行いました。地域の方とのふれあいの中に、子どもたちの笑顔があふれていました。

久米南町中央公民館



「電一郎先生のふしぎ電気実験教室」

科学工作教室を公民館・図書館共同事業として毎年夏休みに開催しています。今回は、マイクロプラスチックごみについて学んだあと、防災グッズとしても使えるソーラー電池を使用したエコランプ作りを行いました。地球環境を守る大切さを改めて感じる事ができる教室でした。